

Draw coronary arteries on the clear ball～冠動脈を立体的に理解する その効果～

【はじめに】 当院の心臓カテーテル室は 2013 年 新しく循環器の医師を迎え 再稼働し 1 年が経過した PCI 件数は 250 件に上るが 私達は その一つ一つの症例における 一瞬一瞬の手技操作にかける医師の“こだわり”を 果たしてどこまで理解できているだろうか？ 今回 私達は心臓カテーテル室スタッフにおける冠動脈イメージの理解度が PCI 中のパフォーマンスに大きく影響を与えているのではないかという事に着目し 問題解決へ動き出したその結果を ここに報告する【目的】冠動脈を立体的に理解し PCI 中のパフォーマンスの向上させる【方法】市販のクリアボールを使用し CCTA 画像を参考に冠動脈を油性マジックで描く 管球の方向 クリアボール 造影画像を照らし合わせて冠動脈をイメージする【結果】管球の方向と造影画像の関係性と冠動脈の位置関係の理解につながった【考察】冠動脈を正確に模写することで各枝の位置関係を理解することができ ボールを透明であることで裏側の枝との関係も確認できるため立体的な冠動脈イメージが可能となる ボールと管球の方向 造影画像を照らし合わせることで頭の中でのイメージが迅速にできる故に PCI 中手技の理解が深まりパフォーマンス向上につながると考えられる【結語】冠動脈の理解は心臓カテーテル室において最初にして最大の難所である 早い段階で克服できるよう工夫しコメディカル全体でバックアップしていく環境作りが大切である